

# 豊かで活力ある農業・農村の実現を目指して



「農は国の本<sup>もと</sup>」と言われていました。

農業から産み出される豊かな実りは、人々の生活だけでなく、心を潤し、さらには、我々が未来に向かって力強く飛躍するための大きな力となります。

世界では、地球温暖化の進行による気象変動、世界人口や発展途上国の経済発展に伴う食料需要の増加など、食料を巡る情勢が不安定になり、穀物価格の上昇も懸念され、昨今の中東などの政情不安は食料問題がその一因とも言われています。

一方、国内では、担い手の高齢化、農業所得の減少、農産物価格の低迷、消費者の食に対する不安など、国内農業を巡る内外情勢は大変難しい状況に置かれておりますが、こうした時代だからこそ、農業を将来性と魅力のある産業にすることが必要だと考えています。

本県農業は、豊かな自然や、恵まれた立地条件のもとで、地域に根ざした産業として、県民の豊かな食生活を支えるという重要な役割を果たしています。また、洪水の防止や水資源のかん養、農村景観の形成など農業・農村の持つ多面的な機能の発揮により、県民の暮らしを支え、地域の伝統や文化を維持する役割も担っています。

特に最近では、本県の強い部門である園芸や畜産で、全国に誇れる経営が着実に育っています。また、水田農業でも、集落営農の組織化や法人化等により、構造改革が進んでいます。

さらに、直売所等における中高年齢者等の活動や、女性を中心にした農村起業が進展するなど、本県の特徴を活かした多様な農業が展開されています。

「ぐんま農業はばたけプラン」は、本県農業をさらに飛躍・発展させたいとの強い思いを持って策定したもので、基本目標である「豊かで活力ある農業・農村の実現」に向け、今後5カ年間で取り組むべき基本方向を示したものです。

元気な本県農業が今後も発展し続けるためには、県民の皆様の理解と支持を得て、「意欲のある担い手が安定した所得を確保し産業として自立すること」、「農村が農業生産の場としてだけでなく、様々なかたちで県民の暮らしを支えること」、「県民の皆様により多彩で安全な食を安定供給すること」の3点が最も重要であると考えています。

本県農業が未来に向かって大きくはばたけるよう、プランの推進につかまして、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

本プランの策定に当たり、アンケートにご協力いただいた皆様、農政審議会委員の皆様、意見交換会にご参加いただいた皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。